

{抄録様式}

財団法人 8020 推進財団	
平成 22 年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録	
1 事業名	デイサービスにおける口腔機能向上プログラム実施支援事業
2 申請者名	印旛郡市歯科医師会 代表者氏名 吉岡 三郎
3 実施組織	実施主体：印旛郡市歯科医師会 協力団体：千葉県歯科衛生士会
4 事業の概要	<p>平成 18 年より始まった介護予防プログラムは、運動機能向上に比べ口腔機能向上・栄養改善の実施が低調である。その原因に 実施方法がわからない・用紙の記入方法がわからない。実施する人員がいない等があげられる。これを解消するために印旛郡市内のデイサービス施設にアンケートをとり、講習会を実施することによって、知識の普及と具体的な手技を習得させる。さらには、施設の希望により歯科衛生士の派遣を実施し、口腔機能向上プログラム実施の普及を図る。今回、試験的に限定 20 施設を募集とし、もし申し込み多数の場合には次年度も継続して講習会を開催し、歯科衛生士の派遣を増やす事も検討する。プログラム実施率が向上することにより、介護現場での口腔ケアの重要性が職員に認知され、利用者の QOL の向上が期待でき、また経営改善も見込まれる。</p>
5 事業内容	<p>当会管轄の施設に DM を送り（156 施設）次の 2 つの事業を実施する。</p> <ol style="list-style-type: none">① 講習会開催：歯科医師が、介護予防の概要・目的・書式説明・期待できる結果等を講義。歯科衛生士が、利用者様への実施方法・注意点・アセスメント等の記入方法等の具体例を講義・指導。② 施設訪問実地指導：歯科衛生士を施設に派遣し、それぞれの施設に対応した実施方法をアドバイスする。また、実際に事業を実施する。
6 実施後の評価	<p>*講習会に対する参加者の評価は、講習内容はすべての方が役に立ったと答えている。当歯科医師会は平成 14 年より口腔ケア支援センターを設置し、口腔ケアの普及に努めている。しかし参加者はすべての方が口腔ケア支援センターを知らなかった。今回の講習会では口腔ケア支援センターの認知度を上げ、当会と緊密に連携をとっていく事が期待できる。また、今後「口腔ケア」・「摂食・嚥下」に関する講習会を希望する方が多数いた。これらは同事業が継続されれば次年度の検討課題となる。</p> <p>*現場での実地指導 とても好評であった。「今までさほど気にしていなかった口の中を、今回の指導の後では利用者さんもスタッフも関心を持つようになった」との事。口腔ケアの大切さを実感していただいた。現場での直接の指導や、利用者別の助言は介護者にとっては机上の勉強からさらに深く、実践的でよかったという感想をいただいた。</p> <p>*反省点：今回申し込みのあった方は 15 人であったが、連絡不足のために講習会参加者は 7 名にとどまった。今後同様の講習会を開催する時には参加者への連絡方法の改善を要する。また、介護職が口腔に関する疑問点が出たときに気軽に問い合わせのできるネットワーク作り（他職種連携）が必要かと思われる。</p>